

福岡県内での「痴漢」「盗撮」被害と対策についての調査結果

2022年6月7日

注・被害の具体例の記述があります。

日本共産党福岡県議会議員団

痴漢や盗撮の被害が後をたちません。痴漢は、被害者に精神的・肉体的な苦痛を与え、その後の人生に大きな打撃を与える、日常にある性暴力です。

痴漢や盗撮をなくし、誰もが安全に暮らせる福岡県にするために、政治や行政、学校、鉄道、警察、企業など社会全体の課題として取り組む必要があります。福岡県では、「性暴力根絶に向けた指針」が策定され、痴漢も性暴力の一つとして位置付けられました。しかし、取り組みはこれからです。

そこで、私たち日本共産党福岡県議会議員団は、対策強化に取り組むうえで被害の実態と被害者の声を把握することが重要と考え、インターネットを利用したアンケート調査を実施しました。2022年2月1日から5月31日までに寄せられた、102人分のアンケートを集計しました。その結果をお知らせします。

【結果の特徴】

●痴漢被害は、「お尻を触られた」が特に多く、「胸を触られた」「体を密着させられた」「性器を触られた」「性器を押し付けられた」など、深刻な回答が寄せられています。

●「盗撮された」という回答は7件ありました。

●痴漢被害を受けた際、被害者は恐怖や驚きで体が固まり、声を上げるなどの行動ができなかったとの回答が多く寄せられました。自由記述の欄には「何もできない自分が悔しくてたまらなかった」「満員電車に乗るのが怖い」という回答や、「ストレス過多で健康被害になった」「人間不信になった」など、心身に強い影響が続いているという回答がありました。

●痴漢被害に遭う場所は、1位が電車や駅、2位が路上でした。

●痴漢・盗撮をなくすための対策としては、性教育、人権教育、ジェンダー平等社会の実現を選択した方が多く、根本的な対策が求められています。相談窓口の周知や相談アプリなど、相談できる場が必要とされていることもわかりました。警察による取り締まりの強化や、駅係員を増やす要望もありました。

【調査の概要】

調査方法：インターネット（Google フォーム）を利用した匿名調査。質問項目は別紙参照。

【結果の概要】

1、回答者の属性

・回答者の性別は、女性（女性・女・シス女性）80.2%、男性（男性・男）17.3%。その他の記載2%でした。

・年齢構成は19歳～29歳が24.5%、30代が19%、40代が15.7%、50代が15.7%、60代が10.9%、70代以上が10.9%でした。18歳以下も4人から回答がありました。

【性別】

	人数	割合
女性	77	80.2%
男性	17	17.3%
その他	2	2%
無回答	6	
計	102	

【年齢】

	人数	割合
18歳以下	4	3%
19～29歳	25	24.5%
30代	20	19.6%
40代	16	15.7%
50代	16	15.7%
60代	11	10.9%
70代以上	11	10.9%

2、被害の状況

【被害体験の有無】

性的接触などのハラスメントや痴漢・盗撮の被害を受けたことがあると回答した方は、回答者のうち61.8%にのびりました。NOと答えた方は38.2%でした。

※痴漢・盗撮の被害に遭ったことがある

	人数	割合
YES	63	61.8%
NO	39	38.2%

【被害を受けた年齢と場所】

被害を受けた年齢について尋ね、62人から回答がありました。10代での被害が30人ともっとも多く、10代未満と答えた方が6人、20代が26人、30代が11人、40代以上が7人でした。「小学校高学年と中学校の時に何度か」「高校生の時が一番ひどかった」など、回答者のうち半数が、複数回被害を受けたと答えています。

被害を受けた場所は「電車・駅」が36件、路上が31件、公共施設4件、映画館3件、その他24件でした。

※被害を受けた年齢（複数回答可）

	人数
10代未満	6
10代	30
20代	26
30代	11
40代以上	7

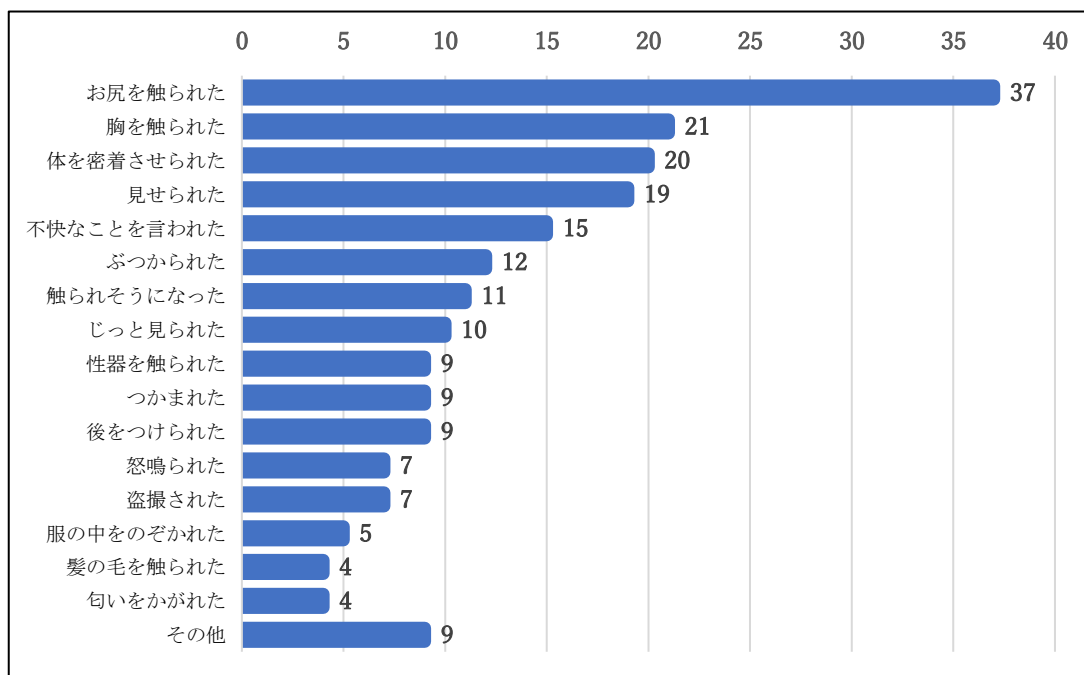
※被害を受けた場所（複数回答可）

	件数
電車・駅	36
路上	31
公共施設	4
映画館	3
その他	24

【被害の内容】

具体的な状況では、「お尻を触られた」が特に多く、「胸を触られた」「体を密着させられた」「性器を触られた」「性器を押し付けられた」など、深刻な回答が寄せられています。「盗撮された」という回答が7件ありました。

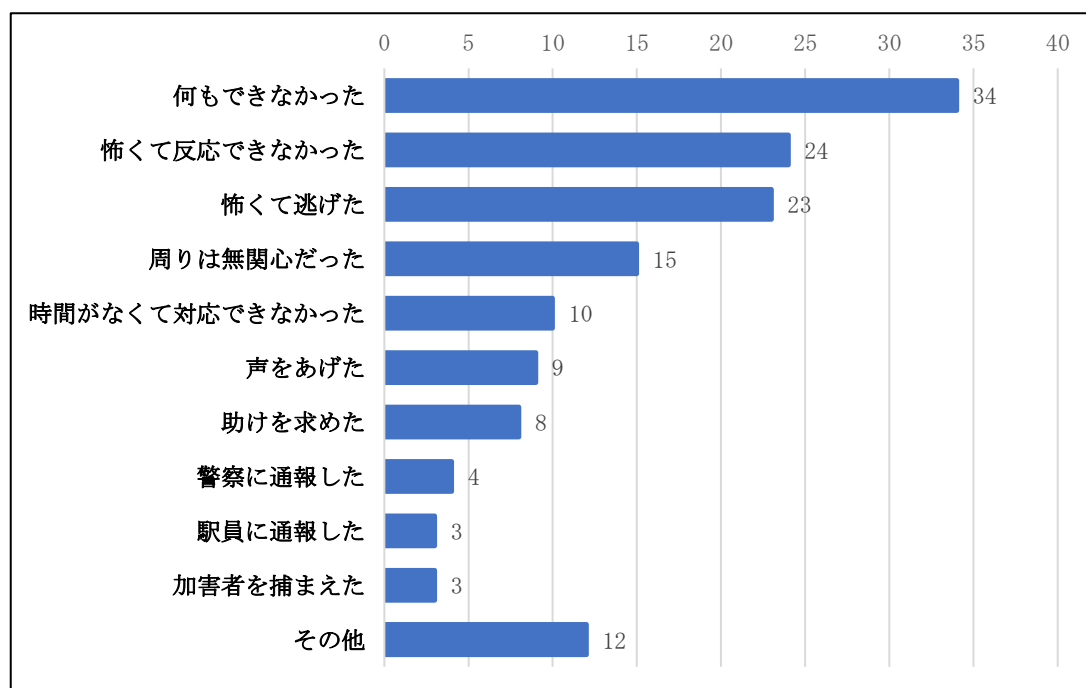
※どのような被害を受けたか（複数回答可）



【被害を受けた時の対応】

被害を受けた際、被害者は恐怖や驚きで体が固まり、行動に移せなかったという回答が多く寄せられました。自由記述の欄には「何もできない自分が悔しくてたまらなかった」「満員電車に乗るのが怖い」という回答や、「ストレス過多で健康被害になった」「人間不信になった」など、心身に強い影響が続いているという回答がありました。

※被害を受けた時の対応（複数回答可）



3、誰かに話すことができたか

61人から回答があり、40人（65.6%）が話した、18人（29.5%）が話そうと思わなかったとの旨を記載してくれました。「時間がたってやっと話せるようになった」「話せたものもあるが、話せなかったことのほうが多い」という回答もありました、

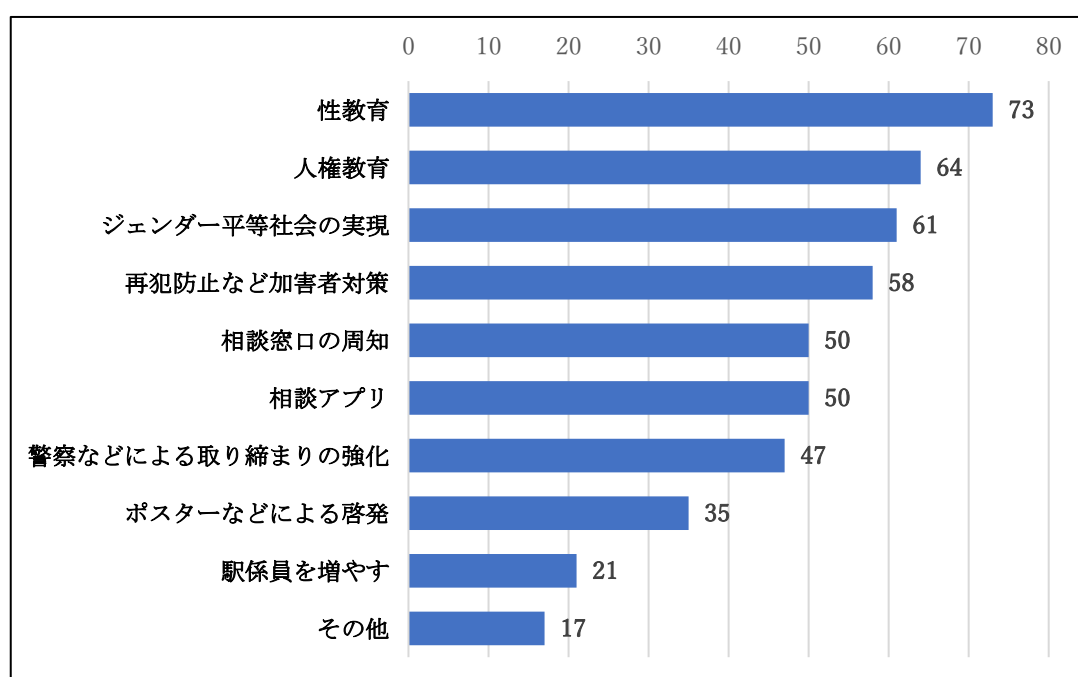
※誰かに話すことができたか

	人数	割合
話せた	40	61.8%
話そうと思わなかった	18	38.2%

4、痴漢や盗撮をなくすための対策

- ・痴漢や盗撮をなくすための対策として、約7割の人が「性教育」と回答しました。約6割が人権教育、ジェンダー平等社会の実現を求める回答を選んでいきます。
- ・被害の相談について、相談窓口の周知や相談アプリを求める回答がそれぞれ5割あります。
- ・47%が警察による取り締まりの強化を求め、21%が駅係員を増やしてほしいと要望しています。

※痴漢や盗撮をなくすための対策（複数回答可）



以上